

令和7（2025）年度 地域へ飛び出せ！ボランティア実践セミナー①

実施報告

実施日：令和7年6月7日（土）

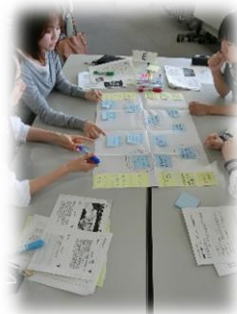
当セミナーは、地域での活動に自ら主体的に取り組めるよう、実際のボランティア活動の場に参加することとおして、ボランティア活動を行う上での一連のプロセスを学び、今後のボランティア活動や地域活動に取り組むために必要な力を身に付けることをねらいとしています。

第1回は、ボランティアの意義や第2回に予定されているフィールドワークの事前準備を行う内容で、大学生や高校生30名が参加しました。

○ 講話・演習「地域活動・ボランティア活動にもとめられるもの」

宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 若園 雄志郎 氏

今回の講話・演習では、ボランティアの意義や事例についての講話、KJ法を用いたワークショップなどを行いました。ボランティア活動においては、まず「自分がやりたいか」、「楽しいか」ということが重要であり、その延長線上に地域や社会への貢献があり、そこから生まれる活動においては、喜びや学びが「報酬」となることをお話しされました。ワークショップでは、地域の活性に向けて、「今すぐできること」や「やらなければならない重要なこと」などを、グループで話し合い、付箋を用いながらまとめました。講話・演習を通して、「つながり」の大切さを確認する機会となりました。



○ 説明・演習「フィールドワークに向けた事前説明」

総合教育センター職員

はじめに、フィールドワークに関する注意事項の説明がありました。

続いて、受講者はフィールドワークの受け入れ団体ごとに分かれて打ち合わせを行いました。

打ち合わせ方法は、団体ごとに異なり、Zoomを用いたオンライン形式で実施したグループもあれば、メールでのやり取りを中心に進めたグループもありました。受講者は、打ち合わせにより情報共有の方法やフィールドワーク活動日の流れについて確認を行いました。オンラインでの受け答えをしたり、団体への質問のメールを作成したりすることを通して連絡方法について学ぶことができました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・自分のために行っているボランティアが、巡り巡って社会のためになっていると思ったらもっと頑張っていきたいと思いました。自分だけの経験で新しい仲間や思いを日々更新していきたいです。
- ・ボランティアについて学び、計画を立てたことで、よりフィールドワークに参加するのが楽しみになりました。
- ・メールなどを大人に送る経験がなかったので、とても貴重な経験になりました。
- ・ボランティアは「自分がやりたいか」、「楽しいか」ということが重要だという点を初めて知ることができました。その上で、地域や社会にも役に立っていることを忘れてはいけないと思いました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

